

しいわ そ たつ もの しつちよく ぎ この げん さつ
 子曰く、夫れ達なる者は、質直にして義を好み、言を察して
 いろ み おもんばか もつ ひと くだ くに あ かなら たつ いえ
 色を観、慮りて以て人に下る。邦に在りても必ず達し、家
 あ かなら たつ そ ぶん もの いろじん と おこないたが
 に在りても必ず達す。夫れ聞なる者は、色仁を取りて行違
 これ お うたが くに あ かなら きこ いえ あ
 う。之に居りて疑わず。邦に在りても必ず聞え、家に在りて
 かなら きこ
 も必ず聞ゆと。

【大体の意味内容】先生はおっしゃった。「達人とは人格が素直であって義理人情を重視する。
 人の発言の背後にある本心を察して、その真相に観入できる。人々の感情の機微に配慮して、
 自分をへりくだらせることもあえてする。それだからこそ、周囲の人々からはもちろん、国中
 の人々から達人と認められるのだ。だが、いわゆる「有名人」は違う。表面はいかにも仁徳の
 人を装うが、実際は自分の名の売込みばかりしている。それがよいことだと信じて疑わない。
 それで、周囲や国中から有名人扱いされるだけだ。」

やたらと偉そうにふるまったり、自分は人一倍働いていると見せかけたり、大変な苦勞をしていると
 主張したり、世界を股にかけて大活躍しているように吹聴している人ほど、くだらない人間もいませ
 ん。本当の達人ほど、「仕事した」顔をしないものです。本当の達人は、自分が全力を尽くし切ったと
 しても、それは他者からすれば微々たるものにしかすぎず、まだまだ足りない謙虚に反省するような
 人です。わずかな功績を針小棒大にひけらかしたり、わずかな不幸を大げさに見せびらかしたり、少
 ばかりの努力を誇大に宣伝したり…、そうした実質を伴わない過剰さは、ほんとうに吐き気がするほど
 見苦しい。くだらない自分を隠すために、懸命に他人を貶めたり、バカにしたり、罪をなすりつけた
 り、責任を押し付けたりするものにいたっては、救いようのない愚か者です。かという自分にも、こう
 した側面のいくつかが当てはまってしまうので、常に意識して、ばかげた口(おのれ)を克服しなくて
 はいけないと思います。